

調査結果から

【成果と課題】

○全国学力・学習状況調査結果

＜国語＞

成果としては、全国と比較して「書くこと」の領域において0.5%、「言葉の特徴や使い方に関する事項」の領域において2.2%上回ったことである。「読むこと」の領域が-10%であり、二つの文章を比較し共通点を読み取る力に課題がある。

＜数学＞

全国と比較して「関数」の領域、「図形」の領域、「数と式」の領域において-6.8～-7.1%であった。課題としては「データ活用」の領域が-15.4%であり、箱ひげ図の見方や累積度数を求める力の育成が必要である。

＜英語＞

全国と比較して、「書くこと」の領域、「聞くこと」の領域、「読むこと」の領域において-6.2%～-6.7%であった。「読むこと」の領域において、短い説明の要点を捉えたり、情報を正確に読み取ったりする問題について、対全国比はそれぞれ-1.7%、-0.1%であったが、対府比は0.2%、1.5%上回る結果であった。

【今後に向けて】

それぞれの教科の特性に応じて、基礎基本の学力の定着とともに、教科書の本文における文章や図表およびグラフを読み取る力、つまり総合的な読解力の育成が必要である。